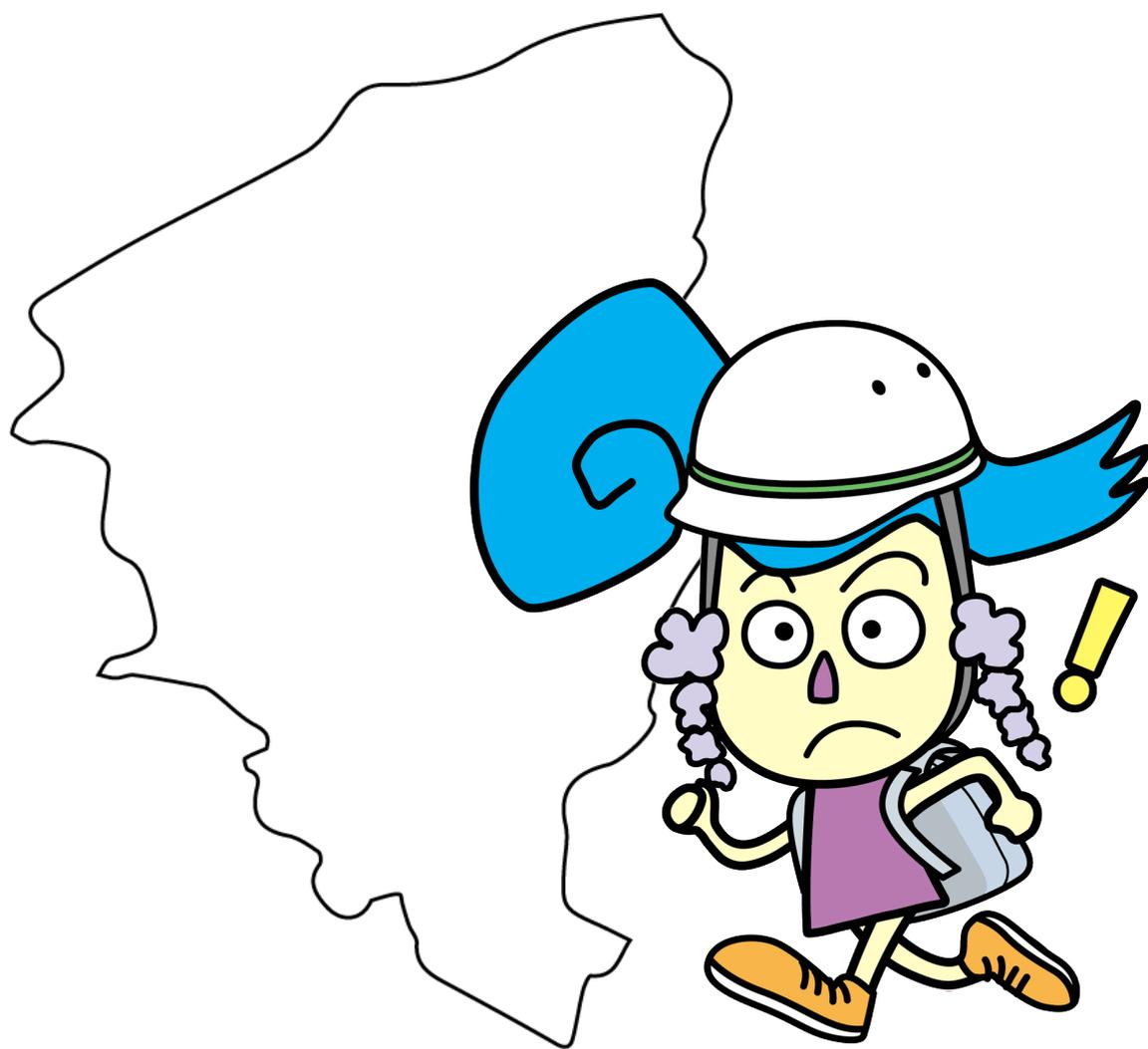


江南市個別避難計画作成マニュアル



令和7年8月【第3版】

目次

はじめに	1
1. 個別避難計画とは	2
2. 個別避難計画作成の対象者	3
3. 計画作成の流れ	4
4. 江南市個別避難計画書について	6
5. 作成にあたり注意点	8
①避難行動要支援者（個別避難計画が必要な人本人）の情報	8
②緊急時の連絡先（何かあったときに連絡をする人）の情報	9
③避難支援等実施者（あなたの避難を手伝う人）の情報	9
④計画作成者（この計画を作った人）の情報	10
⑤避難場所等の情報	10
⑥同意欄	11
6. 計画の変更・廃止について	12
7. 災害が起こった場合	13
○地震が発生した場合（避難の時間的余裕がないとき）	13
○風水害が発生した場合（ある程度状況予測が可能で、避難に時間的余裕があるとき）	14
8. Q & A	15
9. 様式集	18

はじめに

近年、豪雨による洪水や土砂災害等の大規模災害において、高齢者や障害のある方などに被害が集中しており、自力で避難することが難しい方々に対する避難支援体制の構築が必要とされています。

本市では、災害が発生したときや災害のおそれがあるときに、自力で避難が困難な高齢者や障害のある人（以下「避難行動要支援者」と言います。）などに対して、災害時において迅速かつ円滑な支援を行うため、避難行動要支援者の同意を得て、避難行動要支援者名簿に登録する避難行動要支援者名簿登録制度を実施しています。

これにより、作成された避難行動要支援者名簿は、市から、民生委員、自主防災組織や消防機関などに提供され、日常の声掛け等の見守りや災害時の避難行動に関する支援に活用しています。

そのなかで、令和3年5月には災害対策基本法が改正され、災害時の避難支援等を実効性のあるものにするために、避難行動要支援者一人ひとりにあった個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされました。

本市においては、令和7年度より、避難行動要支援者名簿に記載のある方を対象に個別避難計画の作成の取り組みを進めており、避難行動要支援者の中でも、要介護度が3～5、身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級又は療育手帳A判定の方を「個別避難計画作成の優先度が高い方」として、個別避難計画の案内をしています。

避難行動要支援者一人ひとりにあった個別避難計画の作成を通して、災害に備えた行動を考えていただき、災害時に実効性のある避難に繋げていただけるよう、取り組みを進めています。



1. 個別避難計画とは

大規模な災害に対しては、行政による対策「公助」だけではなく、自らの身は自ら守る「自助」、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の考え方を基本に、市民一人ひとりが自発的な防災対策に取り組むことが重要です。

個別避難計画は、避難行動要支援者を対象に、災害時の避難に備えて、

- ①どの経路でどこの避難所に避難するか
- ②誰が避難を支援するか
- ③どのような配慮が必要になるか

などをあらかじめ決めておくことで、本人や家族を含めた防災意識、対応力（自助）を高めていただくものです。



また、地域の避難支援等関係者とあらかじめ個別避難計画情報を共有することで、普段の見守りや災害が発生した時の手助けなど、地域の助け合い（共助）の力を高めることも目的としています。

個別避難計画は、本人や家族の意思により、「作成する」「作成しない」を、決めることができます。

個別避難計画を作成することで、災害が発生した、または、発生するおそれがある場合に、避難支援等関係者から避難支援を受ける可能性が高まります。

注 意

災害時は、避難支援等関係者自身やその家族等も被災しており、自身の安全が前提であるため、個別避難計画により、災害時等の支援が必ず約束されているわけではなく、避難支援等関係者が法的な責任や義務を負うものではありません。

2. 個別避難計画作成の対象者

避難行動要支援者名簿に登録されており、個別避難計画の作成に同意した次の①から⑦に該当する人

- ① 介護保険の要介護3～5の認定者のうち居宅介護の者（要介護認定者）



- ② 身体障害者手帳1・2級の所持者で在宅者
③ 精神障害者保健福祉手帳1級の所持者で在宅者
④ 療育手帳A判定の所持者で在宅者



- ⑤ ひとり暮らしの高齢者（65歳以上）



- ⑥ 日本語が理解できない外国人



- ⑦ その他の要配慮者（昼間独居・高齢者世帯・難病者等）

※個別避難計画を作成したい方で、避難行動要支援者名簿に登録されていない場合は、市役所地域ふくし課で避難行動要支援者名簿に登録手続きをお願いします。

3. 計画作成の流れ

避難行動要支援者のうち、優先度の高い方（要介護度が3～5、身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳A判定）へ、個別避難計画の作成に関する案内を市役所防災安全課から送付します。

計画作成の有無について、回答書を返送してください。
※回答がない方へ連絡をする場合がありますので、ご了承ください。

計画作成する場合

避難行動要支援者のうち、要介護度が3～5、身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳A判定以外の方で、計画作成を希望される方は、市役所防災安全課（内線152、154、156）までご連絡ください。

計画の作成に関する案内を市役所防災安全課から送付します。



記載例をみながら、家族や知人と話し合っ、個別避難計画書を作成してください。
避難者支援等実施者（あなたの避難を手伝う人）は、家族の方や本人・家族が避難支援をお願いしたい人に依頼しましょう。

本人・家族で作成できた場合

本人・家族で作成できない場合

市役所防災安全課に提出してください。



市役所防災安全課（TEL 0587-54-1111（内線152、154、156））にご連絡ください。
市役所職員が日程調整のうえ訪問し、個別避難計画書の作成を支援します。
※訪問する職員等は身分証を携帯しています。

↓ ↓

提出のあった（市役所職員などに作成してもらった）江南市個別避難計画書について、内容確認します。記入漏れなどある場合は本人（家族）や計画作成者に連絡します。不備がなければ、完成です。

↓

完成した江南市個別避難計画書について、市で必要数複製し、計画作成者（市役所が作成した場合も、本人もしくは家族宛）に送付しますので、届いた江南市個別避難計画書は、本人・家族分を保管し、残りを避難者支援等実施者に渡してください。

本人もしくは家族以外の方が計画作成者の場合は、作成者に送付しますので、作成者より江南市個別避難計画書を受け取り保管し、残りを本人・家族や避難者支援等実施者に渡してください。



災害発生前に、必要となる支援や行動を記載し、より実行力のある計画としましょう。

実行力のある計画とするため、可能であれば、関係者で訓練ができると望ましいです。机上の訓練を行ったり、地区の防災訓練のとき、実際に避難訓練を行うなどの方法があります。

4. 江南市個別避難計画書について

A4でオモテ・ウラあります。両面印刷ができない場合は、オモテ・ウラそれぞれ別の紙で作成しても問題ありません。

また、データで作成する場合でも、⑥は自署にてお願いします。

①～⑥の記載欄について「5. 作成にあたり注意点」で、作成にあたり注意することを紹介していますので、記載例と併せて確認し作成してください。

オモテ

様式 1

整理番号

江南市個別避難計画書

作成日 年 月 日

①

避難行動要支援者	町内会等の名称	組名又は班名		
	住所	〒483- 江南市	電話	
			F A X	
			携帯電話	
	ふりがな	メールアドレス		
	氏名	生年月日		年 月 日
		性別		
避難支援等を必要とする事由	<input type="checkbox"/> ひとり暮らしの高齢者 <input type="checkbox"/> 身体障害（1級・2級） <input type="checkbox"/> 要介護認定（3・4・5） <input type="checkbox"/> 高齢者のみの世帯 <input type="checkbox"/> 療育手帳 A判定 <input type="checkbox"/> 難病（ ） <input type="checkbox"/> 日中（夜間）独居 <input type="checkbox"/> 精神障害 1級 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
避難時に配慮しなくてはならない事項	<input type="checkbox"/> 手帳所持【障害名： 】 <input type="checkbox"/> 医療機器の装着等をしている <input type="checkbox"/> 声や音が聞こえない（聞き取りにくい） <input type="checkbox"/> 立つことや歩行が難しい <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解が難しい <input type="checkbox"/> 物が見えない（見えにくい） <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない <input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない <input type="checkbox"/> その他 []			
主な疾患、アレルギーの有無、常備薬の種類や保管場所、かかりつけの医療機関等				
家族構成		見取り図 （普段いる部屋、寝室の位置等）	4北	

②

緊急時の連絡先	住所	本人との関係	連絡先	電話
	ふりがな			その他
	氏名			
	住所	本人との関係	連絡先	電話
	ふりがな			その他
	氏名			

ウラ

3	避難支援等実施者	住 所		連絡先	電 話		同意
		ふりがな	本人との関係		その他	□	
		氏名	氏名	電 話			同意
		住所		連絡先			□

4	計画作成者	住 所		連絡先	電 話	
		ふりがな	本人との関係		その他	
		氏名	氏名	電 話		
		住所		連絡先		

5	避難場所等	避難 広 場		指定避難所		
		その他の避難場所等				
		避難支援する際に必要な内容等	移動に要する器具（車いす、担架等）や持ち出すべきもの（薬等）など			
		避難経路や移動するまでの注意すべき事項など（地図の別紙添付も可）				

6	同意欄	災害時の避難支援を必ず保証するものではなく、関係者は法的な責任や義務を負うものではないことについて了承した上で、個別避難計画書の作成・更新に同意します。 また、本計画の内容について、記載内容に誤りがないことを確認するとともに、江南市及び避難支援等関係者に提供することを了承します。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 年 月 日 氏名（本人署名） </div>				
		住 所		本人との関係		

代理記入者	住 所		本人との関係	
	氏 名	氏 名	連絡先	

※同意の意思について、変更の申出がない限り自動継続とします。

5. 作成にあたり注意点

①避難行動要支援者（個別避難計画が必要な人本人）の情報

本人の記載が難しい場合、代理（家族など）が記載しても問題ありません。

様式 1

江南		整理番号	
町内会等の名称		組名又は班名	
住所	〒483- 江南市	電話	
		F A X	
		携帯電話	
ふりかへし		メールアドレス	
氏名	生年月日	年 月 日	
	性別		
避難行動要支援者	避難支援等を必要とする事由	<input type="checkbox"/> ひとり暮らしの高齢者 <input type="checkbox"/> 身体障害（1級・2級） <input type="checkbox"/> 要介護認定（2・4・5） <input type="checkbox"/> 高齢者のみの世帯 <input type="checkbox"/> 療育手帳 A判定 <input type="checkbox"/> 難 <input type="checkbox"/> 日中（夜間）独居 <input type="checkbox"/> 精神障害 1級 <input type="checkbox"/> そ	
	避難時に配慮しなくてはならない事項	<input type="checkbox"/> 手帳所持【障害名： <input type="checkbox"/> 医療機器の装着等をしている <input type="checkbox"/> 立つことや歩行が難しい <input type="checkbox"/> 物が見えない（見えにくい） <input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない その他 [<input type="checkbox"/> 声や音が聞こえない <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解が難しい <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない
主な疾患、アレルギーの有無、常備薬の種類や保管場所、かかりつけの医療機関等			
家族構成	見取り図 （普段いる部屋、寝室の位置等）		4北

記載不要
市役所が書きます。

固定電話・FAX・携帯電話・メールアドレスで持っていないものは記載不要です。

複数当てはまる場合は複数チェックしてください。

複数当てはまる場合は複数チェックしてください。

アレルギーや普段飲んでいる薬、装着している医療機器など、支援をする側が知らないと困ることを記載してください。

同居している家族の構成を記載してください。

文字で記載して問題ありません。
例：北西側寝室、南側居間でよく生活しています。

②緊急時の連絡先（何かあったときに連絡をする人）の情報

家族と同居している場合、同居の家族を記載してください。

そうでない場合、緊急時に連絡のとりやすい方を記載してください。

メールアドレス、FAX など、電話以外の連絡先があれば記載してください。
また、日中つながりやすい電話番号を追加で記載してもかまいません。

緊急時の 連絡先	ふりがな		係	連絡先	そ の 他	
	氏 名					
	住 所			電 話		
	ふりがな		本人との関係	連絡先	そ の 他	
	氏 名					

記載は1名でも問題ありませんが、複数の方が、より緊急時に連絡がとりやすくなります。

③避難支援等実施者（あなたの避難を手伝う人）の情報

記載は1名でも問題ありませんが、複数の方が、より避難支援に繋がります

避難支援等実施者として計画書に記載されることの同意を得て、チェックしてください。

避難支援等 実施者	ふりがな		係	連絡先	そ の 他	<input type="checkbox"/>
	氏 名 名称					
	住 所			電 話		同意
	ふりがな		本人との関係	連絡先	そ の 他	<input type="checkbox"/>
	氏 名 名称					

緊急時の連絡先と同じ人の場合、氏名のみ記載し、残りを省略してもかまいません。

④計画作成者（この計画を作った人）の情報

緊急時の連絡先や避難支援等実施者と同じ人の場合、氏名のみ記載し、残りを省略してもかまいません。

計 画 作 成 者	住 所				
	ふりがな		この関係	連絡先	そ の 他
	氏 名 名 称				

⑤避難場所等の情報

市内の指定避難所や洪水避難ビル、地震火災避難広場は防災ハンドブックのP37～P38に記載があるので、近くの指定避難所などが分からない場合、参考にしてください。

地震や火災があった時に避難する広いグラウンドや、洪水が来た時に避難する洪水避難ビルを記載してください。

被災した場合、生活場所となる小中学校の体育館などの指定避難所を記載してください。

避 難 場 所 等	避難広場		指定避難所	
	その他の避難場所等			
	避難支援する際に必要な内容等	移動に要する器具（車いす、担架等）		避難するときに必要となるものを記載してください。
	避難経路や移動するまでの注意すべき事項			非常持ち出しバックなどがあれば、しまっている場所を記載してください。

文字で記載して問題ありません。

例：自宅から出て右、その後〇〇の交差点を左、まっすぐ進み〇〇に到着
地図を別途添付も可能です。

⑥同意欄

個人情報の取り扱いについての同意欄です。

同意欄	災害時の避難支援を必要とする場合、避難支援を受けることについては、事前に、江南市 には、江南市 ではないことについて了 また、本計画の内容について、記載内容に誤りがないことを 及び避難支援等関係者に提供することを了承します。 年 月 日 氏名（本人署名）		
	住所	本人との関係	
代理記入者	氏名	連絡先	

本人署名が難しい場合、代理記入も可能です。

本人氏名を代理記入した場合、下段の代理記入者欄も記載してください。

本人署名を代理記入した場合、記載してください。

※この計画書の記入者ではなく、署名の代理記入者欄ですので、計画の記入者は、計画作成者欄に氏名等を記載してください。



緊急時の連絡先など記載欄が足りなくなった場合、別の用紙に追加で記載してください。

地図など、用紙を添付した場合、計画様式とバラバラにならないようホッチキスなどでとめてください。

6. 計画の変更・廃止について

江南市個別避難計画書の内容について変更が生じた場合は、変更した計画書を提出してください。

訓練などを実施し、必要となる支援がより具体的になった場合も、記載内容の変更にご協力ください。

また、避難行動要支援者が長期入院、施設に入所した場合や江南市個別避難計画書が不要となった場合は、市役所防災安全課と計画書に記載のある関係者にその旨をご連絡ください。

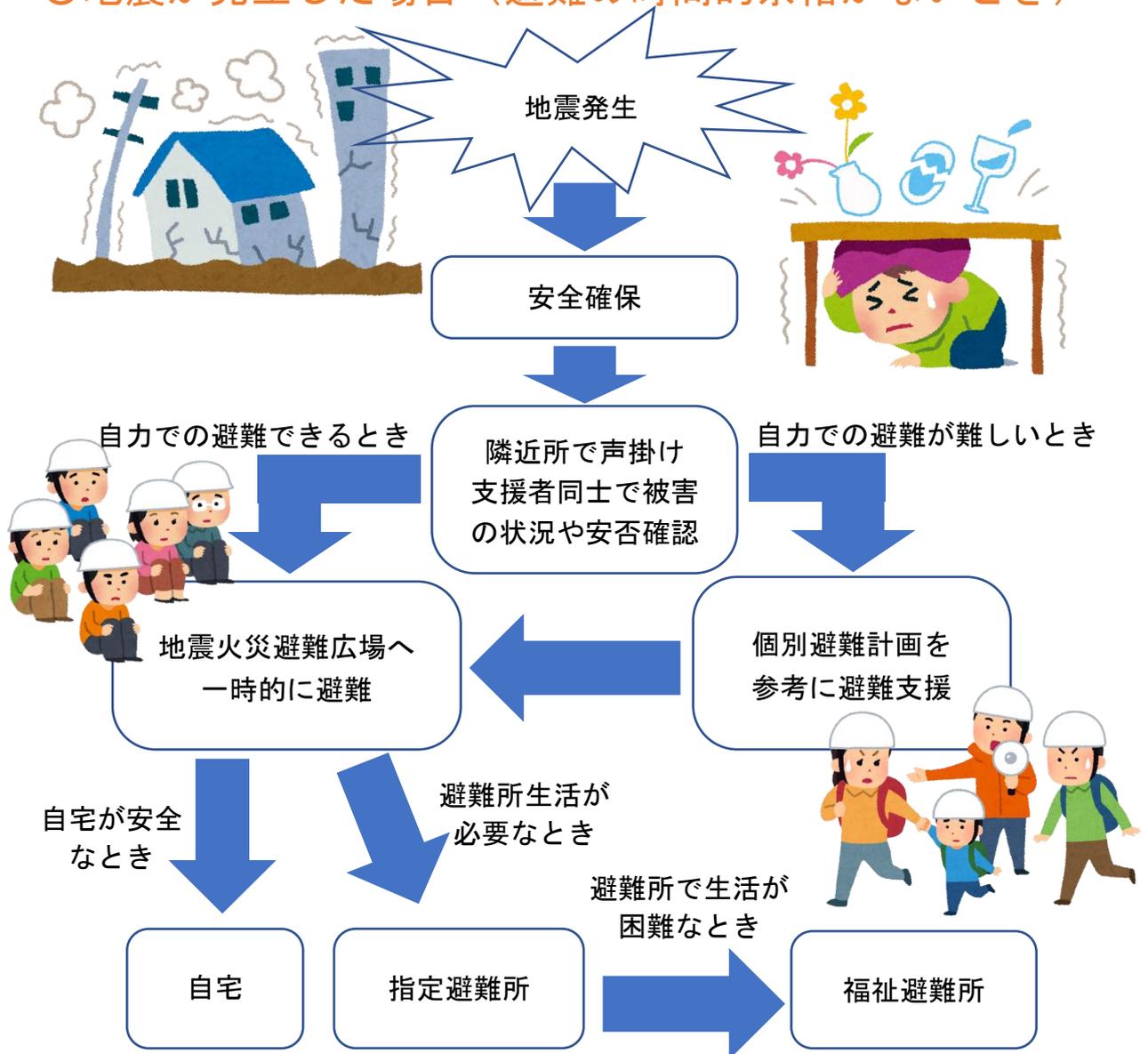
上記の対応は、計画書に記載のある関係者のいずれかの方（主に家族・計画作成者）で、変更・不要等が生じた場合に対応をお願いします。

江南市個別避難計画書が不要となった連絡を受けた関係者は、計画書を市役所に返還するか、裁断するなど個人情報を読み取れなくなるようにして処分してください。

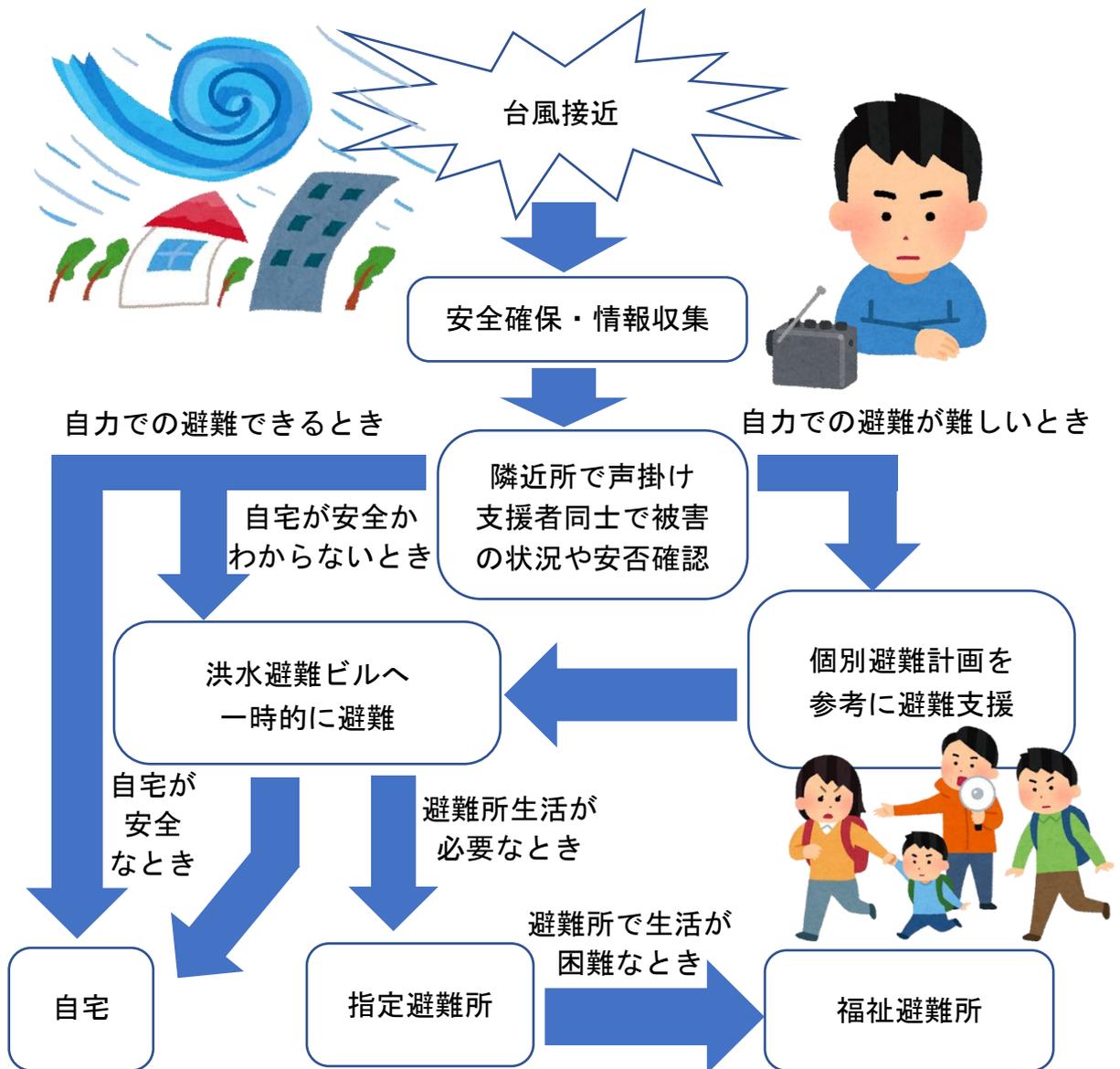


7. 災害が起こった場合

○地震が発生した場合（避難の時間的余裕がないとき）



○風水害が発生した場合（ある程度状況予測が可能で、避難に時間的余裕があるとき）



避難に時間を要する人は、市から「高齢者等避難」が発令されたときに避難するなど、早めの避難行動を心掛けましょう。

避難行動とは、身の安全確保につながる行動のことです。家に留まると命の危険があるときは、洪水避難ビルなどの安全な場所に逃げる「立ち退き避難」をしましょう。外に出ることによって危険な場合は、上層階や高いところへ逃げる「垂直避難」をしましょう。



8. Q & A

Q. 1	個別避難計画は必ず作らないといけないのですか。 作るならいつまでに作らないといけないのですか。
A. 1	個別避難計画は必ず作成しなければならないものではありません。 また、作成時期も定められておりません。 しかし、個別避難計画を作成することで、災害時に避難支援を円滑に行う可能性を高めることができますので、作成することを推奨します。
Q. 2	災害時は行政（警察や消防）が支援してくれるのではないのですか。
A. 2	<p>災害発生時の初期段階や大規模災害が発生した直後は、公的支援が十分に行えないことが考えられます。まずは、一人ひとりが災害時に備えた準備をしたり、自分や家族の身を守る「自助」が当然必要となりますが、災害時の迅速な安否確認や避難支援時には、地域で助け合う「共助」が非常に重要です。</p> <p>内閣府の調査によると、阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出され生き延びることができた人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されたとのデータがあります。</p> <p>個別避難計画の作成を通して、自助の力を高めるとともに、普段から地域住民等との関係構築をしておくことが大切です。</p>
Q. 3	個別避難計画を作成したら必ず助けてもらえるのでしょうか。
A. 3	<p>個別避難計画は災害時の避難支援の可能性を高めるものです。 避難支援等実施者には、災害発生時または、そのおそれが生じた場合、自分や家族の安全を確保した上で支援をお願いすることになります。</p> <p>避難支援等実施者が法的な責任や義務を負うものではなく、日頃から一人ひとりが避難行動について考え、地域のつながりを深めていくことにより、避難支援を円滑に行う可能性を高めるためのものです。</p>
Q. 4	計画を作成したら、なにもしなくてよいのでしょうか。
A. 4	<p>個別避難計画の実効性を高めるため、訓練や定期的な見直しをお願いいたします。</p> <p>作成した個別避難計画に係る重要な事項について変更があった場合、市に更新した計画の提出をお願いいたします。</p>

Q. 5	作成した個別避難計画はどのように活用されますか。
A. 5	<p>本人が計画の共有に同意した場合、作成した計画が避難支援関係者（個別避難計画内に記載のある人）へ共有され、災害時に避難支援や安否確認等に活用されます。</p> <p>また、この計画の作成を通して避難行動要支援者本人やその家族に災害への意識や備えを高めてもらうなど、ご自身の命が助かる可能性を高めることが期待できます。</p>

Q. 6	計画を作成しなかった場合、災害時等に何か不利益を被ることになりますか。
A. 6	<p>計画を作成しないことにより、災害時、避難所の利用などの公的な支援に差は生じません。</p> <p>しかし、個別避難計画は、災害時に避難支援を円滑に行う可能性を高めるものです。</p>

Q. 7	個別避難計画書の要支援者（本人）が、入院又は入所することとなりました。どうしたらよいのでしょうか。
A. 7	<p>長期入院・入所し、自宅へ戻る予定もない場合は、個別避難計画作成対象者となりませんので、個別避難計画が不要となった旨を市役所防災安全課と計画書に記載のある関係者にその旨をご連絡ください。</p>

Q. 8	個別避難計画を作成した場合、避難支援等実施者には何か責任が生じるのでしょうか。
A. 8	<p>避難支援等実施者は法的な責任や義務を負うものではありません。</p> <p>避難支援等実施者の皆様は、災害発生時またはそのおそれが生じた場合、ご自身やご家族の安全を確保した上での可能な範囲での支援をお願いいたします。</p>

Q. 9	避難支援等実施者は、必ず2人記入しないといけないのでしょうか。
A. 9	<p>災害発生時には、避難支援等実施者も被災することが考えられます。そのため、避難支援が行えない可能性もあることから、2人設定していただくことが望ましいですが、支援者が見つからない場合は1人でも構いません。</p>

Q. 10	「避難支援」はどのような内容でしょうか。
A. 10	<p>支援内容は、次のような支援が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「情報伝達」…危険が差し迫っている状況や警戒レベルの情報等を伝達していただく支援です。直接訪問のほか、電話等での伝達も考えられますので、遠方の方でも可能です。 ●「安否確認」…災害発生時や災害が発生する恐れがある場合に、安否をいち早く確認し、避難や支援が必要な場合は、避難行動につなげる支援です。直接訪問のほか、電話等での確認も考えられますので、遠方の方でも可能です。 ●「避難行動」…災害発生時や災害が発生する恐れがある場合に、できる範囲内で避難支援を行っていただくものです。直接訪問できる方が行う支援です。 <p>ただし、これらすべての支援をお願いするものではなく、支援者ができる範囲で行っていただくものです。</p>

9. 様式集

【参考：江南市個別避難計画書 オモテ】

様式 1

整理番号	
------	--

江南市個別避難計画書

作成日 年 月 日

避難行動要支援者	町内会等の名称	組名又は班名	
	住所	〒483- 江南市	電話
			F A X
			携帯電話
	ふりがな	メールアドレス	
	氏名	生年月日	年 月 日
		性別	
	避難支援等を必要とする事由	<input type="checkbox"/> ひとり暮らしの高齢者 <input type="checkbox"/> 身体障害（1級・2級） <input type="checkbox"/> 要介護認定（3・4・5） <input type="checkbox"/> 高齢者のみの世帯 <input type="checkbox"/> 療育手帳 A判定 <input type="checkbox"/> 難病（ ） <input type="checkbox"/> 日中（夜間）独居 <input type="checkbox"/> 精神障害 1級 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
避難時に配慮しなくてはならない事項	<input type="checkbox"/> 手帳所持【障害名： 】 <input type="checkbox"/> 医療機器の装着等をしている <input type="checkbox"/> 声や音が聞こえない（聞き取りにくい） <input type="checkbox"/> 立つことや歩行が難しい <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解が難しい <input type="checkbox"/> 物が見えない（見えにくい） <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない <input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない その他 []		
主な疾患、アレルギーの有無、常備薬の種類や保管場所、かかりつけの医療機関等			
家族構成	見取り図 (普段いる部屋、寝室の位置等)	4北 ↑	

緊急時の連絡先	住所	本人との関係	連絡先	電話	
	ふりがな			その他	
	氏名				
	住所	本人との関係	連絡先	電話	
	ふりがな			その他	
	氏名				

【参考：江南市個別避難計画書 ウラ】

避難支援等実施者	住所		連絡先	電話		同意	
	ふりがな			本人との関係	その他		□
	氏名 名称						
住所		連絡先	電話		同意		
ふりがな			本人との関係	その他		□	
氏名 名称							

計画作成者	住所		連絡先	電話		
	ふりがな			本人との関係	その他	
	氏名 名称					

避難場所等	避難広場		指定避難所		
	その他の避難場所等				
	避難支援する際に必要な内容等	移動に要する器具（車いす、担架等）や持ち出すべきもの（薬等）など			
		避難経路や移動するまでの注意すべき事項など（地図の別紙添付も可）			

同意欄	<p>災害時の避難支援を必ず保証するものではなく、関係者は法的な責任や義務を負うものではないことについて了承した上で、個別避難計画書の作成・更新に同意します。 また、本計画の内容について、記載内容に誤りがないことを確認するとともに、江南市及び避難支援等関係者に提供することを了承します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">氏名（本人署名）</p>				
代理記入者	住所		本人との関係		
	氏名		連絡先		

※同意の意思について、変更の申出がない限り自動継続とします。

【参考：江南市個別避難計画書 記載例 オモテ】

様式1

【記載例】

整理番号

江南市個別避難計画書

作成日 年 月 日

避難行動要支援者	町内会等の名称	江南町内会	組名又は班名	2班	
	住所	〒483-□□□□		電話	0587-54-□□□□
		江南市□□□町■15番地		F A X	なし
				携帯電話	090-□□□□-□□□□
	ふりがな	こうなん たろう		メールアドレス	tarou@×××.×××.jp
	氏名	江南 太郎		生年月日	昭和 38年 4月 1日
				性別	男
避難支援等を必要とする事由	<input type="checkbox"/> ひとり暮らしの高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 身体障害（1級・2級） <input type="checkbox"/> 要介護認定（3・4・5） <input type="checkbox"/> 高齢者のみの世帯 <input type="checkbox"/> 療育手帳 A判定 <input type="checkbox"/> 難病（ ） <input type="checkbox"/> 日中（夜間）独居 <input type="checkbox"/> 精神障害 1級 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
避難時に配慮しなくてはならない事項	<input checked="" type="checkbox"/> 手帳所持【障害名：下肢機能障害】 <input type="checkbox"/> 医療機器の装着等をしている <input checked="" type="checkbox"/> 声や音が聞こえない（聞き取りにくい） <input checked="" type="checkbox"/> 立つことや歩行が難しい <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解が難しい <input type="checkbox"/> 物が見えない（見えにくい） <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない <input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない その他 []				
主な疾患、アレルギーの有無、常備薬の種類や保管場所、かかりつけの医療機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・杖を常に使用しての生活（車椅子を保有、自操可） ・常備薬（糖尿病）は□□に保管。かかりつけ医は□□クリニック、主治医は□□先生 ・掃除や洗濯等のヘルパーサービスを利用中（〇〇障害福祉サービス事業所） ・右耳が聞こえにくいため、話をするときは左耳へ ・電話を使うことができる 				
家族構成	ひとり暮らし	見取り図（普段いる部屋、寝室の位置等）			

緊急時の連絡先	住所	△△△市▽▽▽町▲▲50番地		連絡先	電話	090-△△△△-△△△△
	ふりがな	こうなん ふじお	本人との関係		その他	(メールアドレス) kinkyuu@×××.×××.jp
	氏名	江南 藤雄	長男	連絡先	電話	0587-55-〇〇〇〇
	住所	江南市〇〇〇町●●100番地			その他	(F A X) 0587-56-〇〇〇〇
	ふりがな	こうなん じろう	本人との関係	連絡先	電話	0587-55-〇〇〇〇
	氏名	江南 次郎	弟		その他	(F A X) 0587-56-〇〇〇〇

【参考：江南市個別避難計画書 記載例 ウラ】

避難支援等実施者	住所	江南市□□□町■●30番地		連絡先	電話	090-××××-××××	同意
	ふりがな	しえん いちろう	本人との関係		その他	(メールアドレス) shien@×××. ×××.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	氏名	支援 一郎	知人	電話		090-△△△△-△△△△	同意
	住所	△△△市▽▽▽町▲▲50番地		連絡先	その他		<input checked="" type="checkbox"/>
ふりがな	こうなん ふじお	本人との関係					
氏名	江南 藤雄	長男					

計画作成者	住所	△△△市▽▽▽町▲▲50番地		連絡先	電話	090-△△△△-△△△△
	ふりがな	こうなん ふじお	本人との関係		その他	(メールアドレス) kinkyuu@×××.×××.jp
	氏名	江南 藤雄	長男			

避難場所等	避難広場	□□□公園	指定避難所	□□□小学校	
	その他の避難場所等				
	避難支援する際に必要な内容等	移動に要する器具（車いす、担架等）や持ち出すべきもの（薬等）など 杖または車椅子、常備薬			
	避難経路や移動するまでの注意すべき事項など（地図の別紙添付も可）	<p>自宅 → ○○信号を左折 → ○○交差点を右折 → 直進 → □□□公園</p> <p>自宅 → ○○信号を左折 → ○○交差点を右折 → ●●銀行前を左折 → □□□小学校</p> <p>足が悪く避難に時間がかかるため早めに避難したい</p>			

同意欄	災害時の避難支援を必ず保証するものではなく、関係者は法的な責任や義務を負うものではないことについて了承した上で、個別避難計画書の作成・更新に同意します。 また、本計画の内容について、記載内容に誤りがないことを確認するとともに、江南市及び避難支援等関係者に提供することを了承します。		
	○年○月○日	氏名（本人署名）	江南 太郎

代理記入者	住所		本人との関係	
	氏名		連絡先	

※同意の意思について、変更の申出がない限り自動継続とします。

令和7年3月 初版
令和7年4月 第2版
令和7年8月 第3版